

<b>臨床柔道整復学Ⅳ</b>		<b>演習</b>	<b>非常勤講師 林 勇磨</b>	
<b>科目カテゴリー</b>	<b>柔道整復師コースの専門選択科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>12361301</b>	

### 1. 授業のねらい・概要

本講義では、下肢の骨折について総合的な知識の習得を目指す。骨盤から足部にいたる各骨折の基礎（分類、症状、合併症）、治療法（整復法、固定法、後療法など）、を学習する。併せて下肢の骨折に関わる人体解剖についても復習する。

### 2. 授業の進め方

主に PowerPoint および配布資料を用いて講義を行う。必要に応じて画像、動画等を用いて解説する。

### 3. 授業計画

1. ガイダンス 骨折総論	9. 脛骨近位部骨折
2. 骨盤～大腿部の機能解剖	10. 下腿骨骨折
3. 骨盤骨骨折	11. 足部の機能解剖 小テスト
4. 大腿骨近位部骨折	12. 果部骨折
5. 大腿骨骨幹部骨折	13. 足部の骨折
6. 膝関節～下腿部の機能解剖 小テスト	14. 足趾の骨折 小テスト
7. 大腿骨遠位部骨折	15. まとめ
8. 膝蓋骨骨折	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を復習しておく（1時間程度）。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業内に小テストを行い、終了後に回答のポイントおよび出題意図を解説する。  
試験実施後に問題の解説を記載したプリントを配布する。

### 6. 授業における学修の到達目標

下肢骨折の発生メカニズムからそれぞれのタイプ、整復法、症状、合併症などを説明できるようになる。

### 7. 成績評価の方法・基準

小テスト(30%) 期末試験(70%)によって評価する。

### 8. テキスト・参考文献

柔道整復学・理論編 改訂第7版, 全国柔道整復学校協会監修, 南江堂, 2022年  
柔道整復学・実技編 改訂第2版, 全国柔道整復学校協会監修, 南江堂, 2012年

### 9. 受講上の留意事項

私語および携帯電話の使用, 飲食, 帽子の着用は禁止とする。

### 10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は, 医療機関における実務経験を活かして指導する。

### 11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。